

配信先：大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会

2025年3月31日
大阪公立大学

外国語授業においてグループの雰囲気 学習意欲に影響すると示唆

<ポイント>

- ◇英語授業におけるグループワーク環境が、動機づけに及ぼす影響を調査。
- ◇グループの規模は動機づけに影響しないが、グループワーク環境は動機づけを高める上で重要な役割を果たす。

<概要>

さまざまな課題を通じてスキルを向上させるプロジェクト型学習（PBL）は、外国語の授業などへも導入が進んでいます。PBLではグループワークが活発に行われますが、グループの結束性や積極性などの環境や規模が、学習意欲を高めること（動機づけ）にどのような影響があるのかは十分に検討されていません。また、学習者の語学力の違いなどの個人差要因により動機づけに差があることは分かっていますが、語学力が十分でない場合にグループワーク環境がどのような影響を与えるのかは明らかになっていません。

大阪公立大学大学院現代システム科学研究科の田中 美津子准教授は、PBLを取り入れた英語授業を受講した大学生154人を対象に、グループワーク環境が学生の動機づけに及ぼす影響を検証。その結果、グループの規模による影響は見られませんでした。グループワーク環境の違いによって有意な差がありました。また、グループワーク環境が良好であれば、個人差要因のレベルに関係なく、動機づけが高くなる傾向があることも判明しました。本研究結果は、教育実践において重要な示唆を与えると考えられます。

本研究成果は2025年2月15日に国際学会誌「System」にオンライン公開されました。

<掲載誌情報>

【発表雑誌】System

【論文名】Impact of group work environment and size on L2 motivation in project-based learning

【著者】Mitsuko Tanaka

【掲載URL】<https://doi.org/10.1016/j.system.2025.103621>

<田中 美津子准教授のコメント>

学習においては、個人のみならず社会とのつながりや環境も重要な役割を果たします。今回の研究では、PBLにおけるグループワーク環境の役割を明らかにしました。今後も、より良い協働学習のあり方を追求していきたいと考えています。

<研究の背景>

近年、学生の主体性を重視する教育への関心が高まり、外国語の授業でもプロジェクト型学習（PBL）の導入が進んでいます。これまで、外国語学習における学習環境の重要性は指摘されてきましたが、PBLにおけるグループワーク環境（メンバーの結束性や積極性）やグループの規模が動機づけに及ぼす影響については、十分に検討されていません。また、動機づけは個々の学生が持つ有能性などの個人差要因によって異なることが知られていますが、有能性が低いなど、個人差要因のレベルが十分でない場合でも、適切なグループワーク環境がその影響を和らげることができるのかは明らかになっていません。

<研究の内容>

本研究では、PBLを取り入れた英語授業でグループワークを1学期間（約4か月間）受講した大学生154人（1グループ当り3人～5人で構成された50グループ）を対象に調査を実施。PBLの実践において、グループワーク環境が学生の動機づけに及ぼす影響を検証しました。その結果、学生の動機づけはグループの規模による影響を受けない一方で、グループワーク環境の違いによって有意な差が見られることが明らかになりました。これにより、PBLの実践において、グループワーク環境が動機づけを高める上で重要な役割を果たすことが確認されました。さらに、有能性などの個人差要因も動機づけに影響を及ぼすことが確認されましたが、グループワーク環境が良好であれば、一人一人の個人差要因のレベルに関係なく、一様に動機づけが高くなる傾向があることも明らかになりました。この点は、教育実践に重要な示唆を与える発見といえます。

<期待される効果・今後の展開>

教育実践者がグループワークを行う際、環境に十分注意を払うことは少ないかもしれません。しかし、本研究から、PBLを成功に導くためには、適切な環境整備が不可欠であることが明らかになりました。この結果から得られた知見は、教育実践者がグループワーク環境の重要性を認識し、PBLを実施する際の重要な指針となると考えられます。

<資金情報>

本研究は、JSPS 科研費（JP17K02993）の助成を受けたものです。

【研究内容に関する問い合わせ先】

大阪公立大学大学院現代システム科学研究科・
国際基幹教育研究院
准教授 田中 美津子（たなか みつこ）
TEL：072-254-9718
E-mail：mtanaka@omu.ac.jp

【報道に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課
担当：谷
TEL：06-6967-1834
E-mail：koho-list@ml.omu.ac.jp